



# ボランティアバスケット

54号 平成 27年9月

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会 安佐南区ボランティアセンター  
〒731-0194 広島市安佐南区中須1丁目38-13 (安佐南区総合福祉センター内)  
TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013  
E-mail asami@shakyohiroshima-city.or.jp



## 第6回 安佐南区ボランティアまつり開催

日時：平成27年10月4日(日) 10:00~15:00

場所：安佐南区総合福祉センター

テーマ：「来てみんなさい 楽しみながら つながろう!」

内容：ボランティア体験 作業所自主製品販売

縁日・遊び 健康相談 ステージ発表

東日本大震災・広島土砂災害 支援展示パネル

等



ボランティアまつりを一緒に盛り上げてくれるボランティアさんを募集します

時間帯：AM(9:00~13:00)・PM(12:00~16:00 予定)

1日(9:00~16:00 予定) <\*活動時間は相談に応じます>

活動内容：販売補助や遊びや体験のサポート  
受付・案内

ステージコーナー等のお手伝い

\*前日準備のお手伝いも大歓迎♥(^o^)



掲載記事へのご意見・ご感想・各講座などへの参加申し込みにつきましては安佐南区社会福祉協議会までお問い合わせください。(TEL:831-5011)

安佐南区総合福祉センターへお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

# 安佐南区復興連携センターより



## 豪雨災害から一年...



8.20 広島土砂災害により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害を受けられた多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

私たち安佐南区復興連携センターはこれまでも、そしてこれからも、被災地域の復興と被災者の生活再建に向けて関係各所と連携しサポートをしていきます。これからもよろしく願いいたします。ボランティア活動による災害復興支援のお手伝いはまだまだ続いています。

## 被災地は今...

行政による強靱ワイヤーネットの設置工事が終わり、砂防堰堤工事のための工事用道路や進入路などの整備が進められています。



# 復興に 向けて

被災町内会の強い要望により、崩れてしまった宅地の土台の修繕費用の一部に義援金の追加配分が出るようになり、徐々に修繕が進んでいます。



転居を決められた方の被災家具の搬出や荷物の移動をお手伝いさせていただく機会が増えています。

災害教訓の継承と犠牲者の鎮魂のための石碑設置などの取り組みが地域で行われています。



緑井7丁目



梅林小学校



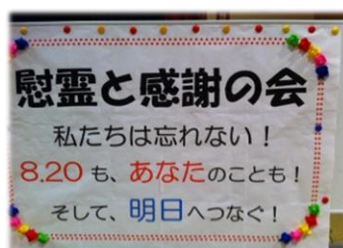
地域の自主防災会が町内会、消防、技術士会など多方面からの意見を聞きながら、実践的な防災マップを作成。大規模な避難訓練も行われました。

被害の大きかった県営住宅の敷地内には防護壁が作られています。



8.20 一年を迎え、この日は鎮魂と祈り、そして防災の思いを新たにしました。

8.20 佐東公民館では、「慰霊と感謝の会」が行われ、当時を振り返りました。また、広島経済大学興動館では地域の方々が、願いを書き込みキャンドルを灯しました。



現在でも多くの登録ボランティアさんのご協力を得て、被災者の方の生活再建のお手伝いをさせていただいております。みなさんの温かい心に支えられて「復興連携センター」があることに心から感謝いたします。これからもご協力のほどよろしくお願いします。



ちょこっと

Vol.4

# 備える防災広場

27. 8. 1

安佐南区復興連携センターでは、6月から災害時に役立つ知識をちょこっとずつ勉強していこう!と普段からできる防災を考え、いざというときの備えや身近な防災について、ご家族やご友人と話し合うきっかけになればと願い開催しています。

今回のテーマは、「非常備蓄品」。非常持出袋の展示、新聞紙やラップを利用した食器作り、非常食の試食、その他災害伝言ダイヤル体験、広島市防災メール登録を行いました。普段から準備出来るものを使って、防災の備えを簡単な工作や体験を交えて学ぶ場になりました。

171



災害伝言ダイヤルの体験

## 家庭にあるもので役に立つグッズたち



非常食・水(3日分)、水タンク、ビニール袋、カセットコンロ、カセットガス、ラップ、新聞紙、トイレトーパー、常備薬、筆記用具、衣服靴(枕元に置くと避難時に安心)、など



それぞれの家庭にあったグッズを! ヘッドライトがあると夜間も安心です

今回の体験には、学区社協関係者や被災された方も参加され、昨年の経験をもとに質問や意見交換が活発に行われました。

参加者からは、「靴を寝室近くに置く。」「夜間の避難にはヘッドライトが必需品。」「両手が使えるようリュックが便利。」「知っているようで知らなかったことに気付くことができた。」などの声がありました。

学区社協関係者からは、自分の地区では〇〇を重点的にやりたい等の声も聞かれ、地区の実情に応じた学びの場へとつながりそうです。また、今回の運営にはボランティア連絡会の協力をいただきました。



## 非常食の試食

ネット通販や近隣のショッピングセンターでも購入可能



# 安佐南区ボランティア連絡会研修会

## これから語り継ぐ講座



～何もしなければ平和は続かない～

H27年度ボランティア連絡会主催の研修会が7月7日(火)午後区総合福祉センターで開かれました。被爆70年を迎えた今年だからこそ原爆の惨状を知る世代からその体験を聴き、広島に住む私たちとして改めて「平和」の大切さ、「ヒロシマ」を次代に継承することを学び合い、見つめなおすことで、「語り継ぐ」ための現状と課題を探りました。

研修会は、音訳ボランティアむつみ会による原爆詩朗読で始まり、旧祇園町で被爆された区内在住の宇佐美節子さんから「あの日」の体験を語り継ごうと立ち上がった思いを話していただき、その後、平和公園でピースボランティアとして活動する村上正晃さんから、22歳の思いと決意を話していただきました。

被爆者が高齢化する中で思い出したくない苦しい思いや語り継ぐ必要をお話してくださったことその思いを受け継ごうと立ち上がった若い世代の行動に深く感銘を受けました。

(上田由美子 作

一部抜粋)

「公園の中をの お 靴を履いて  
歩くこたあ わしにやでけんのお  
こん土地ん下にや  
わしのとうさんやかあさんが  
眠っとるけん・・・」

### 参加者の感想より

宇佐美先生へ 実際に被爆された方の体験談であり、説得力がありました。自分と年齢的には違いがないと思いますが、被爆体験者が少なくなっていますので、今こそ伝承していくことが大切であると思いました。

体験談を話す  
宇佐美さん

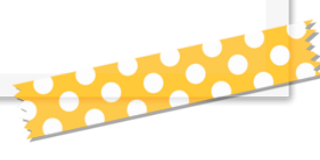


なぜ今この活動を行うのか  
熱い思いを語る村上さん



体験談は本当に具体的な様子が目に浮かび、それが我が家族での出来事だったら・・・と想像して聞かせてもらっていると本当に心が痛みました。この胸の痛みを私の家族の身近な人に伝えることからスタートしたいです。

詩の朗読から始まり、その朗読も大変よかった。体験談も本当に詳しく具体的な話であったので、涙が出る場面もありました。私は戦争を知らない世代ですが、次世代には絶対戦争を起こさないように未来をつくっていくのは、私たちの役目だと強く感じました。継承活動を行っている村上クンのような若い人に出会えたことが本当に良かった。





# 突撃！おじゃましま～す in まあい会



中途障がい者のつどい「まあい会」(原則、月1回 第3木曜 14時～16時)は、自主リハビリ訓練グループです。

8月20日は、総合福祉センターで、安佐南スポーツセンターの指導のもと「風船バトミントン」を会員さん 付添いのご家族の方 11名とボランティアさん6名、社会福祉士実習生2名も参加して、歓声と笑顔あふれる楽しい時間を過ごしました。

ご家族の方からは、「普段は、デイサービスなどを利用しているので、一緒に何かをする時間は少なくなっている。だから、月一回のまあい会は、お父さんと一緒にすごすとても良い時間なのよ。」と嬉しそうに教えてくれました。



「まあい会」では、一緒に楽しい時間をすごしてくれるボランティアさんを募集しています。関心のある方はボランティアコーディネーターまでご連絡ください♡

「まあい会」では、一緒に楽しい時間をすごしてくれるボランティアさんを募集しています。関心のある方はボランティアコーディネーターまでご連絡ください♡

## みんな de なかよく！まなぼうさい！

## 8. 20 豪雨災害



### 語り合いサロンのお誘い

豪雨災害から1年が経過しました。いかがお過ごしですか？災害の悲しみ、苦しみ、体調不良などを抱えこむ日が続いていませんか？

これまで語り合いサロンに参加された方々からの開催要望の声にこたえ、第4回5回6回7回のサロンの開催が決定しました。地域の皆さんで集まって、お茶を飲みながら、気分転換しませんか？

眠れない、食欲がない等の健康相談も実施します。

日時：

- 4回 H27年9月10日(木) 5回 11月26日(木)
  - 6回 H28年1月14日(木) 7回 3月10日(木)
- いずれの回も 13:00～15:00

場所：佐東公民館第3研修室 (緑井6丁目29-25)



内容：日頃の日常生活や今の気持ちを語りましょう！

健康相談・血圧測定等を実施します

申込み不要 当日会場でお待ちしています

お問い合わせ：安佐南保健センター

☎ 082-831-4942



## 知っておこう防災ポイント

広島県防災啓発冊子より

### <土砂災害～災害の前ぶれ>

- \*崖から水がしみだしてきた時は要注意！ 崖のひび割れも前ぶれだよ！ ⇒がけ崩れ
- \*沢や井戸からの水がにごってきたら気をつけよう！ 地面のひび割れやへこみも危険信号 ⇒地すべり
- \*雨が降り続けているのに水位が下がる時 山鳴りが聞こえたら避難しよう ⇒土石流

もしもの時に備えてポイントを日頃から話し合っておこう！

### <安全に避難するコツって何??>

- ★素足や長靴はダメ！⊗ ひもでしめる運動靴をはこう！
- ★はぐれないようにロープでお互いの体を結ぼう
- ★腰まで浸かる場合は無理せず高い所で助けをまとう
- ★水面下の危険をさけるため、長い棒を持って歩こう
- ★浮き輪があればつかまり歩きをして、安全を確保しよう
- ★水の中で歩ける深さは成人男子で70cm 成人女子で60cm



### <突然の災害にそなえて>

- ◆家の中の安全な場所と危険な場所を考えよう
- ◆避難場所はどこがいいか考えよう
- ◆安全に避難できるルートを考えよう
- ◆災害用伝言ダイヤル「171」の活用法を知っておこう
- ◆災害時に持ち出すものを考えておこう

上手に逃げる！  
そのために  
「日頃の備えと心備え」  
が大事！